

御印

海軍監校令

陸付
五十七
上務

秘書官

岩村

聯帶

明治二十一年二月五日

主務

決裁
海軍大臣

次官
松山

艦政局長

伊藤

造艦課長
機関課長
兵器課長
艦裝課長
伊藤
前田

令第一六七號

馬海務部所屬艦政局長に付

海軍監校令に基き馬海務部所屬艦政局長に付

海軍監校令に基き馬海務部所屬艦政局長に付

但艦裝部等所屬艦政局長に付

海軍監校令に基き馬海務部所屬艦政局長に付

百零八

海軍省

0326

正年三月廿七日

海軍大臣

長官官印

附記

馬海義社艦隊所屬各隻の要否常高に維持するに努むるに
 港に於て試運轉を行はざるに成績別表を通りて運方及
 轉數に於ては先般に結果より分るに其大に主として火
 熱練に於ては艦隊各部の汚穢物に附着して等しく原因
 と移り且身艦の機装部を汚染するに及ぶことあり之を
 引渡の期限遷延し為るに彼等が船中の積荷を以て引
 前此際船中へ引渡して尚ほ積荷を以て船中の積荷を以
 引に於ては原上艦隊を掃除して試運轉を行はざるに
 但本支隊の要否を以て引渡して試運轉を行はざるに
 引に於ては原上艦隊を掃除して試運轉を行はざるに

0327

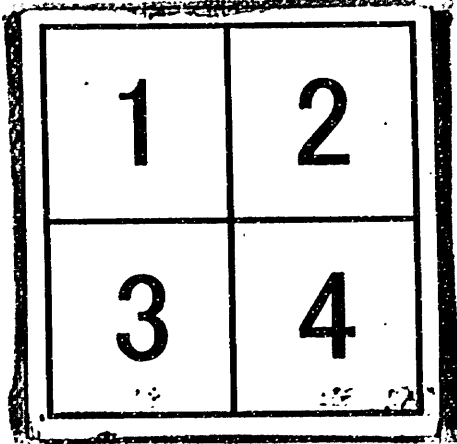
鳥海試運轉成績表

百四九

海軍省

0328

分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 版 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0329
0330
0331
0332

鳥 海 艦 運 轉 試

瀛機室記事	標試航 柱航數 間數	時 誌	瀛溫 機度 室	瀛瀛 機計 室	復空 水氣 機計	瀛轉 機回 數	送回 水轉 機數	送回 風轉 機數	抽回 氣轉 機數	滲回 水轉 機數	膨之 脹位 弁置	聯成 計	給海 水溫 度	速 力
第五回共都テ強盛通風ニテ航行セリ 第四第五ノ標柱間ヲ航行セリ									右		舷			
	1	1 15	80°	80 ^{us}	23	126	216	365	126	126	1/2	-3	82 61	—
	2	1 35	94°	80	22	112	280	380	112	112	1/2	-7	82 62	—
	3	2 10	98°	78	21.5	116	280	380	116	116	1/2	-2	83 62	—
	4	2 48	93°	80	21	138	280	400	138	138	1/2	0	90 62	7.78
	5	3 29	93°	80	22	122	280	400	122	122	1/2	0	85 62	8.20
														7.99
										左		舷		
	1	1 15	80°	80	23	120	216	365	120	120	1/2	-2	80 61	—
2	1 35	94°	80	22	96	280	380	96	96	1/2	-1	82 62	—	
3	2 10	98°	78	22	118	280	380	118	118	1/2	-10	85 62	—	
4	2 48	93°	80	22	138	280	400	138	138	1/2	-1	90 62	7.78	
5	3 29	93°	80	22	124	280	400	124	124	1/2	0	85 62	8.20	

東京石川島平野造船

明治二十一年十一月六日

轉 試 驗 成 績 表

回轉數	滲水機	回轉數	膨脹弁	之位置	聯成計	給水温度	海水温度	速力	平均効瀧壓	馬力	平均馬力	瀧罐室記事	閉塞弁	開閉度	燒溫室度	瀧計	石炭費	補助機	使用時間	
26	126		舷	1/2	-3	82	61	—				第一第二第三ニ於テハ指盤器一吋ヲ示シ第四 四分三ヲ示セリ 石炭ハ英國產ヲ用ヒタリ	1/2	112	80 ²⁵					
2	112		舷	1/2	-7	82	62	—					1/2	118	80					
6	116		舷	1/2	-2	83	62	—					1/2	109	78					
8	138		舷	1/2	0	90	62	7.78					1/2	110	80					
2	122		舷	1/2	0	85	62	8.20					1/2	110	80					
								7.99	H.P. 38.227 L.P. 5.5665		H.P. 217.68 L.P. 112.25									
20	120		舷	1/2	-2	80	61	—					1/2	112	80					
76	96		舷	1/2	-1	82	62	—				1/2	118	80						
18	118		舷	1/2	-10	85	62	—				1/2	109	78						
38	138		舷	1/2	-1	90	62	7.78				1/2	110	80						
24	124		舷	1/2	-2	83	62	8.20				1/2	110	80						
								7.99	H.P. — L.P. 6.475		H.P. — L.P. 132.44									

(注意) 示形ハ標柱間ヲ試航スル毎ニ製スベシ
運轉中及運轉後瀧機瀧罐狀況石炭質等記事ニ認メ置ベシ

示照形ハ標柱間ヲ試航スル毎ニ製スベシ
 運轉中及運轉後汽機汽缸狀況石炭質等記事ニ認メ置ベシ
 ○速力及全力試験共ニ此表ヲ用ユ

1/2	112	80 ²⁵		
1/2	118	80		
1/2	109	78		
1/2	110	80		
1/2	110	80		
1/2	112	80		
1/2	118	80		
1/2	109	78		
1/2	110	80		
1/2	110	80		

第一第二第三ニ於テハ指針器一吋ヲ示シ第四第五ニ於テハ一吋
 四分三ヲ示セリ
 石炭ハ英國產ヲ用ヒタリ

6	126	1/2	-3	82	61	—	H.P. 202.30 L.P. 110.72	
2	112	1/2	-7	82	62	—	H.P. 167.97 L.P. 99.00	
6	116	1/2	-2	83	62	—	H.P. 210.64 L.P. 90.60	
8	138	1/2	0	90	62	7.78	H.P. 274.86 L.P. 139.66	
2	122	1/2	0	85	62	8.20	H.P. 232.65 L.P. 121.26	
						7.99	H.P.C. 38.227 L.P.C. 5.665	H.P. 217.68 L.P. 112.25
20	120	1/2	-2	80	61	—		
96	96	1/2	-1	82	62	—		
118	118	1/2	-10	85	62	—	H.P. — L.P. 105.87	
138	138	1/2	-1	90	62	7.78	H.P. — L.P. 155.7	
124	124	1/2	-2	83	62	8.20	H.P. — L.P. 135.75	
						7.99	H.P.C. — L.P.C. 6.475	H.P. — L.P. 132.44

艦政局長

參謀長

參謀

兵員課

受章 一月七日

飛騨

大正 覽

大臣

參謀部

艦政局

會計局

鳥第三士 〇 日

三月廿九日

追田

二十二年一月四日佳

幸

兵部課廻

造船課廻

次官本艦請取及御國旗掲揚

儀御届

機関課廻

機装課廻

品課廻

本艦本日前請取之末正午十二

時三十分御國旗掲揚仕候条此

段併御届仕候也

但要目表之義ハ追而可差出候条

此段併御届候也

二十二年十二月廿七日品海

鳥海長品川

横須賀鎮守府司令長官中野田倉之助殿

次官

百

0333

一鳥海

記

艦質

鉄製

船種

砲艦

垂直線間長

四拾七メートル

最大幅

八メートル貳百

喫水

前

貳メートル六百五拾

後

参メートル貳百五拾

平均

貳メートル九百五拾

排水積

六百貳拾四噸

装帆種

スクーナル

装礮

(追子内備付ノ分)

廿一冊克砲 砲門 志呼品砲誌別機砲 砲門
十二冊克砲 砲門

百三三

海軍省

0337

汽機

實馬力

七百

機関種類

直動聯成横置汽箱

推進器

双螺旋

罐 取

四

貯蓄水量

九噸

炭回重量

六十八噸

回面

船体部

被板内線回

一枚

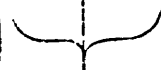
最廣幅截面回

壹枚

側面儀裝回

壹枚

上甲板平面儀裝回



0338

諸横断面

壹枚

中甲板平面機装図

壹枚

船艙機装図

諸管装置図

斗枚

装帆図

壹枚

ノ九枚

機関部

諸管装置之図

壹枚

スクリューシャフトギアリング及ブラケット之図

壹枚

機械組立之図

壹枚

スタートレディングインシンの図

壹枚

汽罐之図

壹枚

エヤポンプ之図

壹枚

コンデンソール解放之図

壹枚

百五十三

要覧

0339

セントリフエガールポンプ機組立之図

壹枚

スクループロペラー之図

壹枚

ストッパヴァーブ之図

壹枚

送風機械之図

壹枚

車軸装置之図

壹枚

ドンキーエンジン之図

壹枚

セパレーター之図

壹枚

ノ拾四枚

追手船監司可受分

船主計長 船医師長 航海長 主計長 船管需用品定額表 六冊

掌帆長 掌帆長 静動索及滑車定額表

壹冊

右又額ハヤ

鳥海艦長品川四方

